

## 【ビジョンにおける目標設定】

### 1. ビジョンの成果指標

	指 標	現況(H27)※	目標(H37)	備 考
柱1	担い手の米生産費の4割削減	16,000円/60kg	9,600円/60kg	他産業のノウハウを入れた作業体系、多収米等を導入した担い手の米生産費 現況値は、H23年の全国平均の米生産費
柱2	担い手1経営体あたり農業産出額の4割拡大	1,500万円/経営体	2,100万円/経営体	農業産出額/担い手数で算出
柱3	新規就農者数	115人/年	120人/年	過去の実績を参考に設定
柱4	農家民宿・レストランの来訪者数	14,000人/年	20,000人/年	観光誘客数の伸び率を参考に算出

### 2. その他の達成目標

重点課題	指 標	現況(H27)※	目標(H37)	備 考	設定区分	長期構想の目標設定
①	製造業ノウハウ活用型先進的農業経営体数	5経営体	15経営体	製造業のノウハウを活用し、収益性の向上に取り組む経営体数	新規	有
②	6次産業化総合化事業計画の認定数	1件	16件	6次産業化計画の認定数(累計)	新規	有
③	気候変動に対応した新品種・新品目の開発・導入数	—	6品種・品目	水稻3(晩生(石川65号)、極早生種、その他1)、果樹2、野菜1を想定	新規	
④	園芸複合化・多角化に取り組む水稻経営体数	200経営体	300経営体	経営面積水田10ha以上の経営体を対象	新規	
⑤	園芸品目の共販金額	68億円	87億円	共販品目ごとの目標販売金額の合計	新規	
	石川65号作付面積	0ha	1,500ha	担い手の水稻作付面積の5%	新規	
	米の1等米比率	81%	90%	うまされ運動の目標 現況値は、H26までの10力年平均値	継続	有
	国内外の各種商談会を通じた商談成立件数	121件/年	200件/年	過去の実績を参考に設定	新規	有
⑥	ブランド化品目の販売額	8億円	15億円	過去の実績を参考に設定	新規	
	ルビーロマンの商品化率	38%	50%	過去の実績を参考に設定	新規	有
	エアリーフローラの出荷本数	306千本	1,000千本	目標年度H31	新規	有
	能登牛の出荷頭数(認定頭数)	695頭	1,000頭	目標年度H31	継続	有
⑦	国内外の各種商談会を通じた商談成立件数(再掲)	121件/年	200件/年	過去の実績を参考に設定	新規	有
⑧	環境保全型農業取組面積	6,042ha	13,600ha	エコ、特裁、JAS有機の取組面積の合計(重複あり)	新規	
	エコ農業の取組面積	5,807ha	12,000ha	認定面積(耕地面積の3割)	継続	有
	特別栽培の取組面積	0ha	1,200ha	認証面積(耕地面積の3%)	新規	
	JAS有機栽培の取組面積	235ha	400ha	認定面積(耕地面積の1%)	新規	
⑨	奥能登食材直行便による販売額	36百万円	50百万円	過去の実績を参考に設定	新規	有
⑩	GAP認証取得農業経営体数	2経営体	20経営体	過去の実績を参考に設定	新規	
⑪	新規就農者数	115人/年	120人/年	過去の実績を参考に設定	継続	有
⑫	農業参入等企業数	5社/年	5社/年	過去の実績を参考に設定	新規	有
⑬	農村女性による新規起業家数	1人/年	5人/年	過去の実績を参考に設定	新規	
⑭	担い手への農地利用集積率	46%	80%	国の目標値を基に設定	継続	有
⑮	ほ場整備率	79%	83%	過去の実績を参考に設定	継続	有
⑯	里山振興ファンド事業の採択件数	18件/年	26件/年	申請件数の2/3の採択	新規	有
⑰	農家民宿・レストランの来訪者数	14,000人/年	20,000人/年	観光誘客数の伸び率を参考に算出	新規	有
⑱	ため池整備数	410力所	460力所	要整備ため池の6割	継続	有
	捕獲イノシシのジビエ利活用率	5%	10%	目標年度H31	新規	有

※ 県長期構想に目標設定のあるもの等はH26年度の数値